

令和3年度

事業報告書

目 次

1 組 織	
(1) 役 員 等	1 ページ
(2) 事 務 局	2・3 ページ
2 評議員会・理事会等	3 ページ
3 主務官庁の許可、認可又は承認の状況	4 ページ
4 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組	4 ページ
5 事 業	
(1) 発掘調査受託事業	4～6 ページ
(2) 普及啓発事業	6～9 ページ
6 そ の 他	10 ページ
資 料	11～23 ページ

資 料

(資料1)	令和3年度 発掘調査委託契約一覧 ……	11・12 ページ
(資料2)	令和3年度 調査報告書等刊行内容 ……	13～17 ページ
(別紙)	令和3年度 業務実施一覧 ……	18～23 ページ

3 主務官庁の許可・認可又は承認の状況

年 月 日	許可等の事項
令和3年6月25日	京都府知事へ令和2年度事業報告書及び収支決算について提出
令和4年3月30日	京都府知事へ令和4年度事業計画書及び収支予算について提出

4 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組

「京都府埋蔵文化財調査研究センター新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の取組」に基づき各事業に取り組んだ。

5 事業

(1) 発掘調査受託事業

令和3年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、1,121,118,000円（契約件数27件）であったが、調査の進捗状況等により、最終的な契約額は、1,161,499,810円（契約件数25件）となった。内訳は、別添資料1のとおりである。

区 分	当初予定 (A)	契約実績 (B)	差異 (B) - (A)
受託事業費	1,121,118,000円	1,161,499,810円	40,381,810円 (増)
契約件数	27件	25件	2件 (減)
発掘調査 (北部)	4件	5件	1件 (増)
発掘調査 (中部)	7件	6件	1件 (減)
発掘調査 (南部)	8件	7件	1件 (減)
整理報告	6件	5件	1件 (減)
普及啓発	1件	1件	0件
出土品整理	1件	1件	0件

コロナ禍のなか、現地調査に係る説明会等の参加者は961名であった。

開催日	遺跡名	備 考
4月16日 (金)	栢ノ木遺跡 (井手町)	井手町内小中学生現地見学会 参加者170名
4月17日 (土)		現地公開 参加者379名
7月15日 (木)	長岡京跡 (長岡京市)	報道発表
7月17日 (土)		現地公開 見学者102名
9月24日 (土)	木津川河床遺跡 (八幡市)	報道発表
11月2日 (火)	上野遺跡 (京丹後市)	宇川小学校6年生現地見学 見学者10名
11月3日 (水)		地元現地公開 見学者30名
11月30日 (火)	稚児野遺跡 (福知山市)	報道発表
12月4日 (土)		現地説明会 参加者63名
12月14日 (火)	上野遺跡 (京丹後市)	宇川小学校6年生現地見学 見学者13名
12月15日 (水)	佐屋利遺跡 (京丹後市)	報道発表

12月16日(木)	上野遺跡(京丹後市)	地元現地公開 参加者15名
12月18日(土)	佐屋利遺跡(京丹後市)	現地説明会 参加者55名
12月18日(土)	幾坂東・幾坂古墳群 (京丹後市)	出土遺物地元公開 見学者57名
12月21日(火)	佐屋利遺跡(京丹後市)	京丹後市立しんざん小学校5・6年生 見学者67名

調査を実施した事業のなかで、特に、顕著な調査成果が得られたものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
5	法貴北古墳群	亀岡市 曾我部町	・古墳時代後期から飛鳥時代の横穴式石室や木棺墓を検出。須恵器や鉄製品が出土。
6	長岡京跡	長岡京市神足	・推定条坊の右京七条一坊十五町にあたり、西一坊大路東側溝と東側溝から宅地内3.5mラインに築地の雨落ち溝を検出。 ・東側溝から宅地内7mラインに2間×5間以上の掘立柱建物の西側柱列を検出。また、宅地内の雨落ち溝の下層から建物廂の柱列を検出。
番号	遺跡名	所在地	主要調査成果
7	佐屋利遺跡	京丹後市 峰山町	・弥生時代中期の竪穴建物3基、溝などを検出。また、弥生土器や最大長33.5cmの大型石包丁2点、絵画土器が出土。 ・平安～鎌倉時代の瓦器や土師器とともに柵・掘立柱建物、流路を検出。
9	幾坂東古墳群 幾坂古墳群	京丹後市 大宮町	・古墳時代中期初頭の5基の古墳において7基の埋葬施設を検出。当該地から大宮町内が一望できる。 ・幾坂40号墳の組合式木棺を納めた埋葬施設SX03から漆塗革盾、鉄剣、鉄刀、玉類などが出土。埋葬施設SX09から竪櫛、瑪瑙製勾玉、滑石製粟玉が出土。
	カンジョガキ遺跡		・流路から縄文土器、大型蛤刃石斧、呪符木簡出土。
11	稚児野遺跡	福知山市 夜久野町	・3万6千年前の後期旧石器時代の16か所に及ぶ環状ブロックを検出。ナイフ形石器、台形石器、刃部磨製石斧などが出土。
15	木津川河床遺跡	八幡市八幡	・古墳時代前期及び飛鳥時代の竪穴建物を検出。 ・平安～鎌倉時代の井戸や流路を検出。 ・石清水八幡の参道で、京街道につながる道幅4.5mの「御幸道」や幅7mの水路を検出。
19	上野遺跡	京丹後市 丹後町	・古墳時代後期の竪穴建物5基を検出。 ・奈良～平安時代の小規模な鍛冶炉を検出するとともに土師器や須恵器、鉄滓が出土。
24	鶴尾遺跡	京丹後市 峰山町	・奈良時代の建物跡。 ・「九九」木簡、習書木簡、人形木製品、墨書土器が出土。

調査報告書については、各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は、資料 2 のとおりである。

『京都府遺跡調査報告集 第 182 冊』	令和 3 年 8 月刊行
『京都府遺跡調査報告集 第 183 冊』	令和 3 年 10 月刊行
『京都府遺跡調査報告集 第 184 冊』	令和 4 年 3 月刊行
『京都府遺跡調査報告集 第 185 冊』	令和 4 年 3 月刊行

(2) 普及啓発事業

令和 3 年度は、昨年度の当調査研究センター設立 40 周年記念事業の一環として 5 年毎に刊行している『京都府埋蔵文化財論集第 8 集』を令和 3 年 8 月 20 日に刊行するとともに、京都府内の遺跡を探訪する際の案内冊子である『京都遺跡さんぽ』を令和 4 年 3 月 31 日に刊行した。また、今年度の後半期事業量が予想を超える増加であったため 5 年毎に刊行している『40 年のあゆみ』は、次年度に刊行する予定である。なお、「埋蔵文化財セミナー」「埋蔵文化財リーフレット」等は、京都府教育委員会の委託事業として実施した。

一方、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロック「関西考古学の日 2021」関連事業は、新型コロナウイルス感染予防等により昨年度に続き全て中止となった。また、例年、京都向日町競輪場で開催される「向日市まつり」で実施している考古学体験ブースの運営も昨年度に続き中止となった。

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために今年度は 3 回開催した。

回数	開催日	実施内容	会場
146	令和 3 年 6 月 26 日 (土)	『丹後 中世寺院の実態 -日本海をめぐる文物-』 ・舞鶴市満願寺跡の発掘調査 -中世寺院と貿易- 当調査研究センター 竹村 亮仁 ・舞鶴市松尾寺仁王門の発掘調査成果 舞鶴市文化振興課 松崎 健太 ・宮津市成相寺と丹後の中世寺院 宮津市教育委員会 河森 一浩	舞鶴市西公民館 参加者 63 名
147	令和 3 年 11 月 27 日 (土)	『京都最古の狩人』 ・後期旧石器時代前半の日本列島 当調査研究センター 中川 和哉 ・海を臨む遺跡 京丹後市上野遺跡の発掘調査 当調査研究センター 面 将道 ・台地の遺跡 福知山市稚児野遺跡の発掘調査 当調査研究センター 黒坪 一樹	ハピネスふくち やま 参加者 65 名

148	令和4年 2月26日(土)	『都をつくる - 恭仁宮と長岡京-』 ・恭仁宮跡の最新発掘成果 京都府教育委員会 桐井 理揮 ・長岡京の大路に面した宅地の調査 当調査研究センター 松井 忍 ・近年発見された長岡京内の 大規模宅地について 公益財団法人長岡京市埋蔵文化財 センター 中島 皆夫	長岡京市中央生涯学習センター 参加者120名
-----	------------------	---	---------------------------

(イ) 成果展 (京都府教育委員会委託事業)

「発掘された京都の歴史 2021」と題して、当調査研究センター及び各調査機関が実施した令和元・2年度の発掘調査成果展を実施した。

- ・テーマ：「発掘された京都の歴史 2021」
- ・会場：向日市文化資料館 入館者 893 名
- ・会期：令和3年8月7日(土)から8月29日(日)まで20日間
- ・会場：府立山城郷土資料館(新型コロナ感染防止のため中止)
- ・会場：府立丹後郷土資料館 入館者 458 名
- ・会期：令和3年9月22日(水)から10月10日(日)まで16日間の予定が、新型コロナ緊急事態のため9月中は閉館
令和3年10月1日(金)から10月10日(日)まで9日間

(ウ) 機関誌

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報や当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年3回刊行した。内容は、資料2のとおり。

第140号	9月刊行	1,500部
第141号	12月刊行	1,500部
第142号	3月刊行	1,500部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット (京都府教育委員会委託事業)

府内の発掘調査成果等を発信するリーフレット『もっと知りたい京都の遺跡』を年2回発行した。

【A3版、二つ折り、カラー刷り、各5,000部】

第9号「剣と刀」
第10号「弥生時代の墳墓」

(オ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、教育局、市町村及び府内小・中学校等と連携して、企画展示や出前講座、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」(京都府教育委員会委託事業)を実施し、文化財保護の啓発を行った。

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」 総数 74名

第1回 令和3年8月17日（火）午前10時～ 参加者 11名

第2回 令和3年8月17日（火）午後2時～ 参加者 12名

第3回 令和3年8月18日（水）午前10時～ 参加者 11名

第4回 令和3年8月18日（水）午後2時～ 参加者 11名

第5回 令和3年8月19日（木）午前10時～ 参加者 15名

第6回 令和3年8月19日（木）午後2時～ 参加者 14名

会場 当調査研究センター研修室

対象 乙訓管内の小学5～6年生

○企画展示「発掘された京都の歴史-40年間の調査から-」

会場 京都府立図書館2階ナレッジベース

期間 令和3年9月29日（水）～10月27日（水）

入館者 453名

○企画展示「発掘された京都の歴史2021」パネル展示

会場 京都府立京都学・歴彩館

期間 令和3年10月1日（金）～10月31日（日）

見学者 480名

○京都府庁2号館ロビー展示

展示名 「京都 最古の遺跡」

期間 令和3年12月10日（金）～12月17日（金）

(カ) 「関西考古学の日2021」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟12法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2021」は、新型コロナウイルスの感染予防の観点から事務局により中止が決定されたため、当調査研究センターが例年実施してきた考古学講座についても中止した。

(キ) 「向日市まつり」考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

京都向日町競輪場において11月中旬に開催される「向日市まつり」において、考古学が体験できるブースを運営する予定であったが、新型コロナウイルス感染予防の観点から催し物自体が中止となった。

(ク) 共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を職員が共同あるいは個人で行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。今年度に採択された研究事業は下表のとおりである。なお、「1」については、新型コロナウイルスの感染防止の観点から資料調査を受け入れていただく機関先での調査が制限され、昨年度に引き続き完了できなかった。

	申請者	共同研究員	研究テーマ	備考
1	面 将道	中川和哉	北部九州における瀬戸内技法の流入時期について	
2	加藤雄太	—	中世丹後の土器・陶磁器	個人研究
3	高野陽子	—	擬凹線文土器様式の成立と展開	個人研究
4	肥後弘幸	吹田直子・三好博喜 高野真衣・面 将道 菅 博絵・竹村亮仁 武本典子・大石雅興 中尾真琴	府内の遺跡・史跡見学者への利便性向上	
5	崎山正人	—	中世石造物の研究	個人研究
6	竹村亮仁	引原茂治・山本梓	環日本海貿易の検討-若狭湾沿岸域を中心に-	
7	荒木瀬奈	—	丹波地域の後期古墳出土玉類について	個人研究

- (ケ) **出土文化財再整理事業** (京都府教育委員会委託事業)
 出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にした。
- ・南丹市八木城跡
 - ・亀岡市亀山城跡
 - ・亀岡市時塚遺跡
 - ・亀岡市車塚遺跡
 - ・亀岡市三日市遺跡
 - ・亀岡市池尻遺跡
- 合計 189 箱

6 その他

(1) 専門研修

文化庁主催の講習会をはじめ独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修に参加し、職員の資質向上に取り組んだ。なお、全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが主催する研修会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から中止となり、予定どおりの受研を見送らざるを得ない状況であった。

(2) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となって10月15日に富永理事を講師にお迎えし「共に生む」と題して職場人権研修を実施した。また、京都府教育庁主催の行政研修及び人権問題研修並びに公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加した。なお、公益財団法人公益法人協会が主催する会計セミナーは、新型コロナウイルスの感染防止の観点から規模が縮小され、参加を見送らざるを得ない状況であった。

(3) **遺跡検討会**

大きな調査成果をあげ、報告書刊行に向けて整理作業が進む犬飼遺跡について、井上理事長、亀岡市教育委員会樋口文化財専門官の指導・助言を得て、遺構・遺物の検討を行い、報告書に検討内容を反映させた。

(4) **講師派遣**

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣した。また、同志社大学、神戸女子大学、佛教大学においても講師として職員を派遣した。